

製品名: hnRNP C1/C2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe83809**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.55mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 34 kDa ; Observed MW: 40 kDa

抗原情報

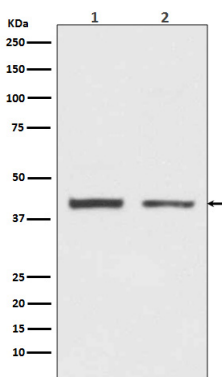
遺伝子名	hnRNP C1/C2
別名	HNRNPC; HNRPC; Heterogeneous nuclear ribonucleoproteins C1/C2; ROC; hnRNP C1 / hnRNP C2; hnRNP-C1/C2;;hnRNP C1/C2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P07910
免疫原	ヒト hnRNP C1/C2 由来の合成ペプチド

背景

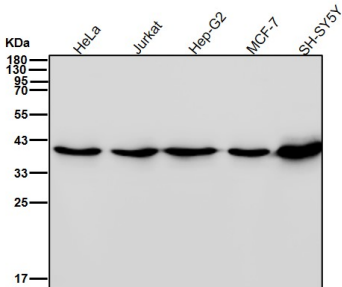
pre-mRNA に結合し、40S hnRNP 粒子の集合を核形成します。mRNA の 3'-UTR または 5'-UTR にあるポリ U 領域と相互作用し、結合した mRNA 分子の安定性と翻訳レベルを調節します。

研究分野

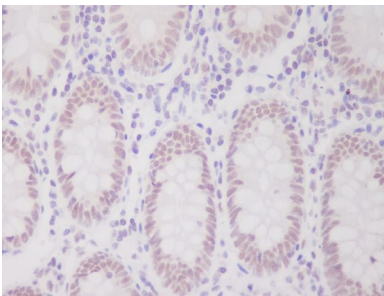
画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) HepG2 細胞溶解物における hnRNP C1/C2 発現のウエスタンブロット解析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:5000 に希釈し、室温で 1 時間使用します。



hnRNP C1/C2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。